

第3専門部会 議論シート

検討分野	課題	基本的な方向性
<p>- 1 学校教育（幼児教育・小中学校教育・高等学校教育）</p> <p>（参考：みらい会議での意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と親のコミュニケーションが不足 ・帯広・十勝の歴史などふるさと教育が必要 ・登下校を見守る体制が十分でない ・地域等への学校開放に不便な面がある ・学校・家庭・地域の連携が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り体制の変化と親の安全に対する意識にギャップがある ・親が過保護であり、けんかの仕方が分からない、物を粗末にする子どもが育っている ・基本的なしつけが出来ていない子どもが多い ・学力レベルが高くない ・先生が親に対して毅然と物が言えないなど、先生が教育をしにくい環境になっている ・精神的に参っている先生が増えている ・新しい学習指導要領や小中学校の適正配置など、教育を取り巻く環境の変化し対応が求められている ・子ども会が弱体化している 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の視点から、交通安全・防犯など子どもの安全対策を進めることが必要 ・将来の地域を支える人材の育成していくため、教育レベルの向上が必要 ・先生の質の向上が必要 ・地域と学校の交流を深めるため高齢者など地域の人が学校に入っける機会を充実することが必要 <p>（具体的な取り組み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親に対する学習プログラムが必要 ・家庭学級の取り組みを地域にもっとPRすることが必要 ・学校で行われている研究活動を家庭や地域で活かしていくことが必要 ・学校給食で十勝の食材を使うことが必要 ・小中学校の適正配置は地域づくりの視点で進めることが必要 ・小学校を中心とした地域づくりを進めることが必要 ・子どもに様々な文化・芸術体験をさせることが必要 ・子どもの心の教育に少年団の協力を得ることも必要 ・地域のボランティア活動を促すため資金的な支援が必要
<p>- 2 高等教育</p> <p>（参考：高校生ワークショップでの意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学や専門学校等、卒業後の進学先が少ない ・帯広で進学という選択がもっとできるようになればいい 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進み経営難の大学が多い中、大学誘致の環境は厳しい ・畜大はレベルが高く地元の人なかなか入れない 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の高校生の進路確保という視点から十勝に新しい大学が必要 ・産業、文化、福祉などあらゆる分野で知恵を与え、市民の学習活動に貢献する大学は地域にとって必要なもの ・既存の学校との連携も考えながら、高等教育を高校の次のステップとして考えることが必要 <p>（具体的な取り組み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい大学は看護や福祉系で進めていくことも必要。 ・最終的な形ではないが、大学誘致はサマースクールなどから取り組むことも必要
<p>- 3 生涯学習</p> <p>（参考：みらい会議での意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館が充実している ・動物園が市街地にあるのは良いこと ・十勝らしさを活かした動物園や児童会館の整備が必要 ・生涯学習への意識が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習施設でどのような意図を持ってどのような活動が行われているのか市民に十分伝わっていない ・学習プログラムがあることが知られていても、参加する動機付けにまで至らない 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習施設をもっと有効に活用し施設の活性化を図ることが必要 ・生涯学習施設の活動を広く知ってもらうことが必要 <p>（具体的な取り組み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの人に参加してもらえる学習プログラムの提供が必要 ・児童会館や動物園を大人の生涯学習活動に活用する視点が必要 ・展示物の説明のなど施設の魅力を高める工夫が必要 ・小学校を核に地域の生涯学習活動を展開することが必要 ・学校図書館を地域の生涯学習施設として開放することを考えられないか ・地域の学習活動を支援するボランティアへの資金的支援が必要

第3専門部会 議論シート

検討分野	課題	基本的な方向性
<p>- 4 文化</p> <p>(参考：みらい会議での意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化への市民の関心は薄い ・文化に対してお金をかけない意識がある ・個性ある芸能が発展しにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・帯広はあちこちから入ってきた人で出来たまちであり、郷土芸能として文化を発展させるのは難しい ・子どもの頃から良い文化・芸術に触れる機会が少ない ・設備が整った大きな展示場がなく文化活動の発表の場がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの頃から様々な文化・芸術に触れることができるよう体験機会を充実することが必要 <p>(具体的な取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域の人材を活用して芸術・文化を子どもに伝えることが必要 ・情緒教育に学校にある陶芸の釜を活用することも考えられる ・ボランティアに退職教員を活用することも必要 ・一部の団体に対してではなく、幅広い活動を対象とした文化活動に対する支援が必要 ・美術館を文化活動の発表の場として活用できないか
<p>- 5 スポーツ</p> <p>(参考：みらい会議での意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設が充実している ・指導者等の人材の育成、カリキュラムの充実が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・競技レベルの向上が必要 ・市民の健康づくりの視点からスポーツ活動を促進していくことが必要 <p>(具体的な取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技レベルの向上のためには一流選手との交流が必要 ・合宿誘致のため地域として何らかの支援が必要 ・学校施設を整備する際は、一般市民がスポーツで活用することを想定しることが必要

第3専門部会 議論シート

検討分野	課題	基本的な方向性
<p>- 6 環境保全</p> <p>(参考：市民アンケートから)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯広市の魅力について最も回答が多かったのは「自然環境に恵まれている」こと ・「温暖化などの地球環境の変化」が地域にとってマイナスと回答した人は「少子化の進行」、「人口減少の到来」、「資源エネルギー需要の逼迫」に次いで多い。 <p>(参考：みらい会議での意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵まれている自然に対する意識が低い <p>(参考：これまでの審議会での意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境の問題を自分たちの問題と受け止める必要がある ・防風林が伐採され林地が減少している <p>(参考：こども議会での意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策のためバイオエタノールの普及が必要 ・学校等で環境やごみ問題について学び理解を深める必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球規模の環境問題は今後10年で益々厳しくなっていく ・大量消費・大量廃棄の中を生きてきた大人の環境に対する意識が低い ・市民の間に省エネ意識が十分に浸透していない。 ・環境を守る学校での取り組みと家庭の意識のギャップが大きい 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題に地域として本気で取り組まなければならない ・市民一人一人が自分たちで出来ることに取り組むことが全体の環境保全につながる ・地域が一体となって環境を守っていく意識を高めることが必要 ・環境負荷軽減のため、現在捨てているものに目を向け利活用を図ることが必要 ・良質な水や空気を今後も維持・継承していくことが必要 <p>(具体的な取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料と競合しない分野でバイオエタノールの研究を進めることが必要 ・太陽光発電のほか、温泉や工場の廃熱、冷熱、家畜糞尿の利用など十勝の地域性を活かした新しいエネルギーの利用を促進することが必要 ・街路樹の剪定で出る枝をペレット化するなど地域の資源を有効に利用できないか ・地球温暖化対策の視点から植物を植えていくことが必要 ・学校内での取り組みから子どもの意識を育てていくことが必要 ・良質な水・空気を活かし花粉の疎開ツアーの受け入れなど考えられないか
<p>- 7 ごみ減量・資源化</p> <p>(参考：市民アンケートから)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業が取り組んでいる(取り組みたい)と考えている地域貢献活動は「リサイクル・省エネ活動」が最も多い <p>(参考：みらい会議での意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清潔なまちを保つためごみ収集ルールの周知徹底などが必要 ・ごみの出し方について地域で考えることが必要 <p>(参考：こども議会での意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校等で環境やごみ問題について学び理解を深める必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集の有料化後、河畔林などで大量のごみが捨てられているのが目立つようになった ・川などでごみを不法に焼却している人がいる ・商品の包装が過剰である ・環境・リサイクル活動に取り組む企業が多いが活動の励みになるような社会的評価が得られにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみをつくらないという視点も必要 ・容器・包装のごみは大量に出ており、リサイクルできるものは積極的に回収に取り組む必要がある ・ごみの減量化やリサイクルなどは一人一人の小さな取り組みが大きな効果を生み出すものであり、市民の日頃の取り組みを大事にしていくことが重要 <p>(具体的な取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄は厳罰化していくことが必要 ・商店街などの小売店で簡易包装やエコバッグの利用促進を率先で取り組む必要がある ・エコバック普及の取り組みを一企業の取り組みにするのではなく、地域的に展開することが必要 ・活動の励みとするためリサイクル等に取り組む優良企業・団体等を表彰してはどうか ・町内会で行っている資源回収の取り組みへの支援が必要

第3専門部会 議論シート

検討分野	課題	基本的な方向性
<p>- 8 景観</p> <p>(参考：みらい会議での意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防風林やまっすぐに伸びる道路など十勝を代表する景観がある ・まちには歴史や文化を感じさせる景観が少ない ・豊かな農村景観が大切にされていない 	<p>・空港から街までの間に防風林や街路樹もなく、景観づくりは進んでいない</p> <p style="text-align: center;">議事録整理中</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・景観づくりの統一的な考え方をもって各主体が連携して取り組みを進めることが必要 ・農村の景観を大切に作る視点が必要 ・防風林は十勝の代表的な風景、次世代に引き継ぐべき文化として守っていくことが必要 ・景観づくりをすすめるには何らかの誘導施策が必要 ・都市景観基本計画や都市環境デザイン委員会など既存の枠組みを踏まえ実効性のある取り組みを進めることが必要 <p>(具体的な取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観を守るためにはそこに住んでいる人に対する配慮が必要 ・国道、空港、鉄道の3つの入り口から帯広に入ってくる際の景観に統一感を持たせられないか ・それぞれの季節に対応した景観づくりが必要 ・地域ならではの草木を活用した景観づくりが必要 ・中心部では消費者金融など看板の規制も必要 ・遠くから眺めるだけでなく通りを歩いて楽しくなるような景観も必要ではないか ・街の賑わいも景観の一つとして捕らえることが必要 ・かつてのパリのように街の中を様々なポスターで彩ることも一つの景観 ・空き地にマンションを建設するなど中心街に住む人を増やすことが必要 <p style="text-align: center;">議事録整理中</p>
<p>- 9 生活道路</p> <p>(参考：みらい会議での意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の舗装化が進んでいる ・歩道が凸凹である ・除雪・排雪の不徹底や遅れがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪が遅い地域がある ・道路の車線誘導の矢印に不可解なものがある ・車道を除雪した雪が歩道に堆積され危険な状態となっている ・違法駐車を除雪の大きな妨げとなっている <p style="text-align: center;">議事録整理中</p>	<p>(具体的な取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除排雪の技術的な改善が必要 ・高校生の自転車通学を考え歩道を広くすることが必要ではないか ・学校の統廃合である地域では自転車が多く通るところを子どもが通学しなければならない状況が発生することを踏まえて歩道整備や歩行者、自転車の分離を考えることが必要 ・多少土地の価格が高くなっても、除雪のこと考え、区画整理時に道路幅を広くとることは考えられないか <p style="text-align: center;">議事録整理中</p>

第3 専門部会 議論シート

検討分野	課題	基本的な方向性
<p>- 10 公園・緑化・河川</p> <p>(参考：みらい会議での意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地には緑が少ない ・公園施設のなかには使いづらいものもある ・快適な生活のため公園などの充実が必要 ・公園で遊ぶ子どもが少なくなっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園で子どもが遊んでいない。 ・市民協働で整備したちびっこ広場に対する支援が少なく、施設も老朽化している。地域での維持には限界がある。 ・木や芝生がありくつろげる公園は少ない ・飲食や火の使用で公園利用の規制があり利用方法が限られている <ul style="list-style-type: none"> ・原生林がほとんど残っておらず人間の手が加わった緑が大部分 ・防風林が減少している。 ・街の中の緑が少なく、大きな木や立派な並木もない。 ・最も目立つ街中の角の一角に緑が少ない ・剪定した枝をごみとして出す際の制約が多い ・緑と花のセンターがあまり知られていない ・帯色の森の育林が停滞している <ul style="list-style-type: none"> ・緑ヶ丘公園のボートなどかつては水に親しむ機会が多かったが、最近はこうした機会が減ってきている <p>議事録整理中</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園は子どもの遊び場としてだけでなく多様な利活用を図ることが必要 ・今後、公園は維持やリニューアルを中心に考えることが必要 ・緑を増やすためには市民一人一人の活動が重要 ・河川は、河畔林があり虫や魚がいるのが本来の姿。河川工事の際は小さな生き物への配慮が必要 <p>(具体的な取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の使い勝手や適正な配置の検討が必要 ・ノーテレビゲームデーなど子どもが外で遊ぶことを促すことが必要 ・地域が管理しているちびっこ広場に対する支援が必要 ・公園利用の規制を緩やかにして利用方法の範囲を広げられないか ・駐車場があって広くて水で遊ぶことができる公園が必要ではないか ・岩内自然の村やポロシリのキャンプ場を外に向けて発信すべき ・防風林伐採の影響が出てから木を植えても遅いことを理解してもらうことが必要 ・街路樹の剪定は市民協働で進めることが必要だが、個人で手をつけてよい範囲などの指針があれば取り組みやすい ・街路樹は電線の上に樹幹を伸ばし木を大きく育てるような剪定が出来ないか ・交差点の角に緑を増やすことで街の印象が変わってくるものであり角地に立地することが多い商業施設に対する誘導策が考えられないか ・紅葉など季節によって景観が変わるものを街路樹に出来ないか ・緑と花のセンターの利活用が必要 ・統廃合された学校の跡地を活用して緑を増やすことを考えられないか ・郊外にも街路樹が増えればよい ・子どもの成長のためには、河川整備を含めある程度の危なさは残っていても良いのではないかと。 <p>議事録整理中</p>
<p>- 11 上下水道</p> <p>(参考：みらい会議での意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいな河川と豊かな自然が育むおいしい水の保全が大切 	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道料金が低い <p>議事録整理中</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の水質を今後も守っていくことが必要 <p>議事録整理中</p>

第 1・2・3 専門部会 共通議論シート

検討分野	課題	基本的な方向性
<p>共 - 1 . 市民協働・地域コミュニティ</p> <p>(参考：市民アンケートから)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりのため「積極的に活動したい」、「機会があれば活動したい」と考えている人は半数以上 <p>(参考：企業アンケートから)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何らかの社会貢献活動に取り組みたいと考えている企業は9割以上で特にリサイクル・省エネ活動や地域活動などの社会貢献活動に取り組みたいという企業が多い <p>(参考：みらい会議での意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報や活躍の場を効果的に提供する仕組みづくりが必要 ・企業の協働機会を増やすことが必要。 ・小さな市民活動にも目を配り団体や人を育てることが必要 ・地域のコミュニケーションや世代間の交流が不足 ・若い人が地域活動に参加できる環境づくりが必要 <p>(参考：これまでの審議会での意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱物に頼らず市民の協働やアイデアでまちづくりを進めるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
<p>共 - 2 . 自治体経営</p> <p>(参考：みらい会議での意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体の健全な行財政運営が必要 ・税金の使途をもっと市民が知ることが必要 <p>(参考：これまでの審議会での意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハコモノを有効活用していく視点が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
<p>共 - 3 . 広域連携</p> <p>(参考：みらい会議での意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十勝圏全体で課題に対応することが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
<p>共 - 4 . 男女共同参画</p> <p>(参考：これまでの審議会での意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性が社会に出て行かないとこれからはまちを支えていけなくなる ・女性の能力を引き出し発揮できるまちであるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
<p>共 - 5 . その他(ユニバーサルデザイン、平和、人権、アイヌの人たちなど)</p>		

